

農業、6次産業化、女性の活躍

地域が一体となり山村の活性化を目指して

活動の経緯

地域活性化の拠点となる「道の駅いくさか郷農産物直売所」の開設に当たり、施設の民主的な運営を実現して農業振興と生産者の所得向上を図るため、平成29年に設立。令和2年度からは、豊かな自然や風土等の観光資源のPRや6次産業化の推進など、「道の駅いくさか郷」を核に積極的に取り組む。

活動の概要

地域資源の賦存状況・利用形態等の調査及び合意形成、人材育成並びに消費拡大や付加価値向上を図る。



女性団体による新商品開発



PR効果で賑わう直売所

活動の成果、主な実績等

○地域の合意形成や組織の体制強化を図るため、長野県内における地域資源を活用した地域活性化の先進事例の実態調査を実施。

○コロナ禍にあって、テイクアウト需要が高まったことから、首都圏の大学と連携し、テイクアウト用パッケージデザインコンテストを実施。採用されたデザインを広く商品に活用することで、売上げが向上。

○地域資源を活用した商品開発を進め、消費の拡大や販売促進、付加価値の向上が図られ地域経済に貢献するとともに、村への愛着心が向上した。

○長野市や松本市など県内の都市部を中心に、積極的に生坂村の魅力のPRに努めた結果、農産物直売所における農林水産物御販売額は、年々、大幅に増加。